

2021 高分子学会東北支部研究発表会プログラム

11月1日(月)

13:15-14:00 座長：松井 淳

A01 一次元摂動分子内 ATRP による可溶性ラダービニルポリマーの合成

(山形大院有機¹・山形大工²) ○酒井 望¹・夏目 和哉¹・菊地 守也²・川口 正剛¹

A02 星型ポリ乳酸の分子鎖方向を識別した結晶化挙動

(山形大院有機¹・山形大工²・東大院工³)

○山崎 翔太¹・原田 真帆子²・羽場 修¹・福島 和樹³・熊木 治郎¹

A03 PMMA 膜表面分子の高温 AFM 観察

(山形大工¹・山形大院有機²) ○小池 仰輝¹、大川 迅¹、梅津 亮汰²、熊木 治郎²

14:00-14:45 座長：太田 俊

A04 熱活性化遅延蛍光(TADF)を指向した複素芳香環ドナー/アクセプター側鎖型共重合体の合成

(山形大院有機) ○伊東 尚美・森 秀晴

A05 ヘテロ環ビルディングブロックを用いた重合誘起自己組織化によるナノ組織体の創製と 金属錯体形成

(山形大院有機) ○熊野 千陽・森 秀晴

A06 表面修飾された固体-液体-固体の2界面における液体およびモノマーの濡れに関する研究

(東北大多元研) ○川崎 貫太、中川 勝

14:45-15:00 休憩

15:00-15:45 座長：鳴海 敦

S01 【若手招待講演】 応答温度制御型ハイドロゲルの構造・物性解析と機能化

(弘前大院理工) ○呉羽 拓真

A07 ナノ回折イメージングによる結晶性高分子の積層ラメラ構造の解析

(東北大院工¹・東北大多元研²) ○狩野見 秀輔¹・丸林 弘典²・宮田 智衆²・陣内 浩司²

15:45-16:30 座長：呉羽 拓真

A08 Ugi 反応による糖鎖複合フェオホルバイド誘導体の合成

(山形大院有機¹・群大院理工²・奈良女共生科学セ³)

○小暮 彩乃¹・覚知 亮平²・矢野 重信³・鳴海 敦¹

A09 RAFT 重合系への環状モルフォロジーの導入

(山形大院有機) ○林 祐吏・玉川 元太・鳴海 敦

A10 尾索動物由来セルロースナノファイバーの簡易作製と表面機能化

(東北大院工) ○村井 駿亮・朱 慧娥・三ツ石 方也

18:00— 懇親会 (Zoom)

11月2日(火)

10:15-11:00 座長：松本 和也

B01 温度応答性高分子を混合した共役高分子膜の電気化学特性

(東北大院工) ○金田一 修平・山本 俊介・三ツ石 方也

B02 ディップ法による導電性高分子の成膜と水不溶化

(東北大院工) ○都 隆誠・山本 俊介・石崎 裕也・前田 諒太・三ツ石 方也

B03 アニオン応答性ホウ素含有ポリマーの合成と薄膜特性の評価

(山形大院有機¹・山形大工²・山形大院理工³)

○鍋田 寛之¹・太田 彩貴²・木村 汰勢³・増原 陽人³・山門 陵平¹・岡田 修司¹

11:00-11:45 座長：松村 吉将

B04 マイクロ波照射による poly(*N*-dodecyl acrylamide) の高速自己組織化

(山形大院理工¹・山形大理²) ○大毛 瑞貴¹・松井 淳²

B05 櫛形ランダム共重合体が形成するラメラ構造の組成比依存性

(山形大理¹・立教大理²) ○菊地 真魚¹・齋藤 希¹・松井 淳¹・永野 修作²

**B06 液晶基を有するエポキシドとオリゴエチレンオキシ基を含むエポキシドとの共重合体による
ネマチック液晶への垂直配向誘起**

(山形大院有機¹・桃陽²) ○伊藤 皓輝¹・羽場 修¹・桃井 優一²

11:45-13:00 昼休み

13:00-13:45 座長：山門 陵平

**S02 【若手招待講演】 ビス(ベンゾイミダゾール)配位金属ジクロリド錯体をモノマーとする
結晶性非共有結合型高分子の構造と機能**

(弘前大院理工) ○太田 俊

B07 末端に CYMEL を導入した熱硬化型ポリチモールの開発

(岩手大院理工) ○駒木 良樹・塚本 匡・大石 好行・芝崎 祐二

13:45-14:30 座長：山本 俊介

B08 温度応答性と生体適合性を兼備した水溶性高分子のゲル化条件の解明

(弘前大理工) ○平山拓杜・呉羽拓真

B09 生体材料に向けたカチオン性ポリヒドロキシウレタン膜のリン酸による改質

(山形大院理工) ○中沢尚貴・松村吉将・落合文吾

B10 ポリ(1,5-ジオキセパン-2-オン)を有するポリ乳酸共重合体の抗血小板粘着メカニズムの解明

(秋田大院理工) ○金田吉来・寺境光俊・松本和也・疋田正喜・田中希

14:30-15:15 座長：塚本 匡

B11 希土類アミド/ヒドロキシピリジン系触媒による共役ジエン類の重合

(弘前大院理工¹・株式会社ブリヂストン²) ○渋谷堅斗¹・竹内大介¹・高野重永²

B12 多孔質ガラスに担持した金属触媒によるエチレン重合

(弘前大院理工¹・群馬大院理工²)

○奈良崎萌花¹・竹内大介¹・増野敦信¹・小倉沙代子²・原澤椋己²・高澤彩香²・攪上将規²・
山延健²・上原宏樹²

B13 NHC 銀錯体およびアルミニウム錯体を用いたエチレン重合

(弘前大院理工¹・群馬大院理工²)

○木村なな子¹・竹内大介¹・小倉沙代子²・高澤彩香²・攪上将規²・山延健²・上原宏樹²